

令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

「バンコク都ワットアルンにおける貧困孤児等のためのコミュニティ・ラーニングセンター建設計画」



生徒と実施団体代表



本計画で整備された教室で学ぶ生徒

実施団体	コミュニティ・ラーニングセンター
プロジェクト サイト	バンコク都バンコク・ヤイ区
供与金額	2,134,200タイバーツ(約7,298,964円)
分野	社会的弱者の保護と福祉サービス
背景	・コミュニティ・ラーニングセンターは、2006年から貧困孤児等の人身取引の被害に遭う可能性が高い児童を毎年約20人を受け入れている。児童に対しては社会的自立に必要な看護助手になるための奨学金制度や英語、コンピュータースキルの授業が提供されており、タイの文化や道徳の教育も行われている。 ・児童の教育にはワットアルン寺院内の地下教室(2室)と屋外スペースが利用されてきたが、極めて手狭な環境であった。今回の計画は、同寺院の地上部分に寺院内で新たな教育施設を建設できないことから、地下部分に追加的な教室を整備し、教育環境の改善を図るもの。 ・同団体は外部組織より資金援助を受けているが、地下部分の教室建設は通常より費用が高いため、必要な建設費を賄う事ができず、日本大使館に支援要請があったもの。令和元年12月25日に本計画の贈与契約署名を実施。
支援内容	地下教室建設、天井部分の補強施工
期待される 効果	今回のラーニングセンターの整備・拡充計画は、人身取引被害リスクの低減に寄与し、社会的に脆弱な児童の社会的自立を支援するものであり、「誰ひとり取り残さない」持続可能な開発目標(SDGs)に一致するもの。